

はじめに

佐賀市は、みどりあふれる山間地、宝の海である有明海、肥沃な田園地帯である佐賀平野を有する、山から海までつながる自然豊かなまちです。本市では、平成 27 年に策定した「第 2 次佐賀市環境基本計画」に基づき、本市特有の多様で豊かな自然環境を保全する取組を推進してまいりました。

しかしながら、近年、地球温暖化等の影響により、記録的な猛暑や短時間強雨の増加など、地球規模で災害が頻発化・激甚化しています。また、人間の社会経済活動の増大に伴い、マイクロプラスチックによる海洋汚染や外来生物の侵入等による生物多様性の損失など、環境問題が顕著となっており、その解決に向けて、社会全体で取り組む必要性が高まっています。

このような中、本市は、“佐賀らしさでみんなが上を向くまち”を 2040 年の将来像とする「第 3 次佐賀市総合計画」を策定しました。今後、この計画に基づいて、SAGA2024 国スポ・全障スポ等で光が当たった「佐賀らしさ」を大切に、磨きながら、社会問題を解決するイノベーションを組み合わせることによって、一人ひとりが自分らしく暮らせる豊かで魅力的なまちを目指してまいります。

そして、このたび、この将来像を環境面から実現するための今後 10 年間の指針となる「第 3 次佐賀市環境基本計画」を策定しました。“みんなで創り育む トンボ舞う みどり豊かなまちさが”を環境の将来像に掲げ、誇れるふるさととして、本市の美しい自然環境を未来の子どもたちへ継承することを目指すための計画です。

今後、環境に配慮した脱炭素型のライフスタイル・経済活動への転換や、プラスチックの資源循環などの循環経済システムの構築、ラムサール条約湿地である東よか干潟の保全など、幅広い分野の環境施策に取り組んでまいります。市民・事業者等の皆様と一層連携・協力・伴走しながら取組を進めてまいりますので、皆様のさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

環境問題は、私たち一人ひとりが身近なものとして、自分ごととして捉え、地域や家庭で配慮できることに地道に取り組むことが大切です。新たな計画が、皆様が身近な暮らしと環境問題のつながりを再認識し、行動するきっかけとなれば幸いです。

本計画の策定に当たり、熱意をもってご議論いただきました環境審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご協力をいただきましたすべての方々に、心から感謝申し上げます。

令和 7 年 3 月 佐賀市長 坂井 英隆



目次

第1章	新たな計画の策定にあたって	1
1	計画策定の趣旨	2
2	計画策定に関わる社会情勢の変化	3
3	環境基本計画とは	5
第2章	佐賀市の概況と環境の現状	7
1	佐賀市の環境の状況と課題	8
2	第2次環境基本計画の評価	19
3	市民・事業者の環境に関する意識と行動	21
第3章	佐賀市が目指す将来の環境の姿	27
1	環境将来像	28
2	地域ごとの将来の姿	29
3	2034年の佐賀市のイメージ	30
第4章	環境将来像の実現のための取組	33
1	環境施策の体系	34
2	環境施策の展開	36
	基本目標 1 脱炭素が暮らしや地域に浸透しているまち	36
	基本目標 2 持続可能な循環の仕組みで、成長し続けるまち	43
	基本目標 3 水とみどりにあふれ、心地よさを実感できるまち	49
	基本目標 4 安全で快適な生活環境のまち	57
3	環境将来像の実現に向けた市民・事業者の取組	62
第5章	計画の実効性を高める横断的推進	65
1	市民・企業等との協働体制	66
2	人材育成・行動変容の促進	67
3	推進体制と進行管理	69
資料編		73
1.	成果指標の具体的な数値目標一覧	74
2.	佐賀市環境基本条例	75
3.	佐賀市環境審議会規則	78
4.	佐賀市環境審議会委員名簿	79
5.	計画策定の経緯	80
6.	これまでの環境施策の取組状況調査の結果	82
7.	アンケート調査結果	94
8.	関連用語集	105